

古川地下調節池について

1 内容

古川地下調節池は、古川の治水安全度を早期に向上させるために、平成21年度から平成29年度にかけて東京都が整備した調節池です。古川地下調節池は地下トンネル式であり、洪水時には養老橋下流右岸側の取水施設から取水し、恵比寿橋上流部から一之橋にかけて河川下に整備した延長3.3kmのトンネル部に洪水を貯留します。

なお、古川地下調節池は、都内初の河川下を活用して整備した地下トンネル式の調節池です。

2 施設概要

	内容・規模	備考
調節池名称	古川地下調節池	
洪水調節量	44m ³ /sec	取水箇所：港区白金五丁目
調節池容量	135,000m ³	排水箇所：港区三田一丁目
トンネル	内径7.5m	
延長	約3,300m	

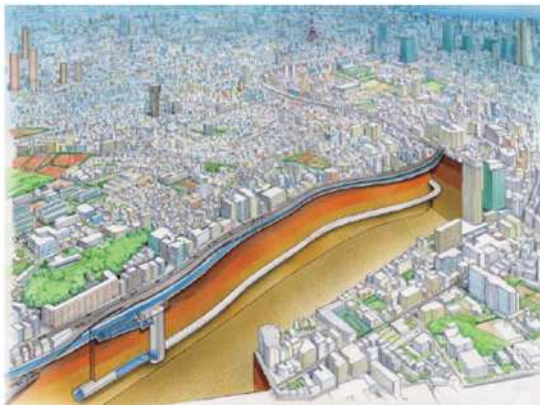
※ 東京都「渋谷川・古川 河川整備計画（平成31年4月）」P.16から抜粋

3 事業の効果

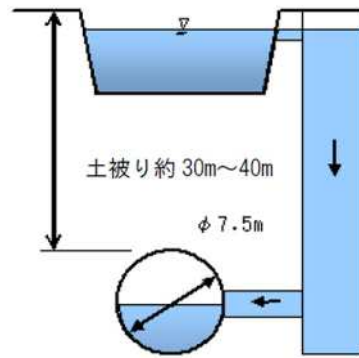
東京都は、古川地下調節池を整備したことで、1時間当たり50ミリ降雨への対応が可能となり、古川流域の浸水被害軽減に大きな効果を発揮しているとしています。

また、東京都は現在、処理可能な時間について、雨の降り方によって河川への降雨の流入状況が異なるため、一概には言えないとしています。

<参考>



全体イメージ図



断面図



調節池内部



取水施設

東京都建設局ホームページから抜粋

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000046136.pdf>



東京都「渋谷川・古川 河川整備計画（平成31年4月）」P. 16から抜粋